

環境プレス

Environmental press



輝く人権

●問い合わせ
役場人権推進課 人権推進係
☎096(293)7920

インターネット上での人権侵害をなくしましょう

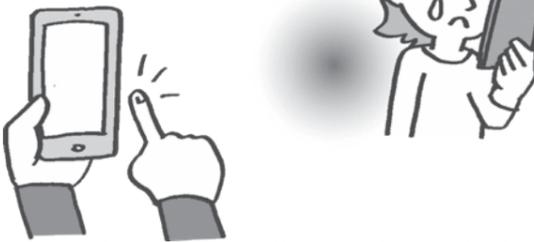
近年の情報通信技術の発達により、インターネットは情報の発信や収集、コミュニケーションの手段として、私たちの生活に身近なものになりました。多くの人が、パソコンやスマートフォンを利用し、生活のあらゆる場面で欠かせないものになっています。

●ネット上の人権侵害の例
一方で、SNS（ソーシャルネットワークワーキングサービス）の利用者の増加に伴い、個人情報掲載によるプライバシーの侵害や、特定の個人に対する誹謗中傷、外国人、障がい者などに対する差別的な表現の書き込みなど、インターネット上での人権侵害が大きな問題となっています。早くからインターネットに接している子どもたちが、トラブルに巻き込まれる例も発生しています。
また、現在のように、感染症や災害

など、皆さんが大きな不安を感じている際には、デマやフェイクニュースなどの不確かな情報が一気に拡散され、社会に混乱が起きることもあります。

●ネットの向こうにも生身の人間がいる
SNSなどでは、名前や顔を知られることなく情報を発信することができ、そのため、直接人と接する場合よりも人権を軽視した行動をとってしまうことが、もう一度自分で確認することが重要です。インターネットでつながった先には自分と同じ生身の人間がいることを忘れず、ルールやモラルを守って利用しましょう。

その投稿、大丈夫ですか



●環境美化の日を中止します
町では例年、6月と10月に「大津町環境美化の日」を設定し町内全域に環境美化運動を実施していましたが、本年は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止します。

●土地の適正な管理をお願いします

私有地の雑草や、樹木など剪定を行わずそのまま放置している、通行の妨げになったり、歩行者や車両を巻き込む事故につながる恐れがあります。
また、隣接地に雑草などが伸びることやトラブルにつながる原因にも、虫が湧いたり、街の景観を損ねることもつながりかねません。
荒れたままの土地は、人に迷惑をかけるだけでなく、不法投棄をされやすくなる原因にもなります。本来、不法投棄した本人が処分すべきですが、投棄した人が分からない場合には、土地の所有者が処分することになります。
そのような問題が発生しないように、日頃から、定期的な管理をお願いします。



ごみ分別大辞典

ごみ出しの注意点

①ごみ出しは午前8時30分までに
収集は、午前8時30分からはじめます。地区や曜日で、収集の順番が異なるので必ず時間より前に出しましょう。

②ごみは袋の中に入れてください
ダンボールや草などをひもで縛り、ごみ袋をひもに括り付けて出している場合は収集できません。完全に袋の中に入れ、袋をしばって出しましょう。



※量が多い場合は直接焼却場に持ち込むこともできます。

●基準 一本当たり
直径10cm長さ2m以内

●持ち込み先 東部清掃工場
大津町古城1046番地2
☎096(293)5245

きらめく男女

●問い合わせ
役場人権推進課 男女共同参画推進係
☎096(293)7920



大津町男女共同参画審議会
委員 ほんだ みえこ
本田 美恵子さん

私は、町企業連絡協議会から推薦を受け、今年度から男女共同参画審議会に参加しています。8年前にも参加しており、今回で2度目です。

私の職場は全員が女性で、家事・仕事・子育てに奮闘中のお母さんが大半です。有休は、子どもの病気・学校行事・介護などでリフレッシュ休暇とはほど遠いのが現状のようです。特に、病気の場合は突発的な休みになるので、まず「職場に迷惑をかけてしまうのでは」という気持ちが先に立ってしまいます。

本日は、職場に気兼ねすることなく看病してもらいたいのですが、仕事と家庭の両立のためには、心の負担を軽減することも必要だと感じています。「イクメン」・「カジメン」という言

葉をよく耳にしますが、役割分担が難しい場合もあると思います。特に乳幼児にとってお母さんの力は偉大と考えられがちですから、病気の場合はお母さんに負担がかかってしまいます。
これから親になる人も子育てを卒業する人も、お互いが良き理解者として助け合える職場づくりをしていかなければと感じています。

25年ほど前、今の立場で仕事をする事となり、さまざまな会合に出席すると、女性は私一人でした。「女に何ができる」といった空気感に、とても息苦しく居場所がなかったことを覚えています。

そんな中、心の支えとなったのは、応援や励ましの言葉、受け入れてくださった人がいたことです。もちろん家族の理解や協力なしにはできなかったこともたくさんあり、今日まで頑張ってきたことは、本当に感謝「ありがとう」の一言に尽きます。

まだまだ女性の社会進出は少ないように感じますが、職場や家庭で固定的な性別役割分担意識にとらわれず、男女がさまざまな場面で活躍できる対等なパートナーであるために、一人一人ができることをお互いに尊重し、助け合いの心を持ち続けていかなければと思っています。

おおづのしごと VOL.13

本田技研工業株式会社 熊本製作所

すべての人に「生活の可能性が広がる喜び」を提供する

本田技研工業(株)熊本製作所は、ホンダで国内4番目に設立した日本で唯一の二輪生産工場です。昭和51年に操業を開始し、ホンダの国内事業所の中で最も広い敷地、そして最も恵まれた自然環境を誇っています。

二輪車の開発から量産までを行い、パワープロダクツも量産し、ここ大津町で作られた製品は国内はもとより、広く海外にまで輸出され世界中の人々に愛用されています。

これからも Honda の製品やサービスを通じて、「すべての人に『生活の可能性が広がる喜び』を提供する」へ取り組んでいきます。

生産業務部長 杉浦 功一さん

素晴らしい人生はカブに乗ってやってくる！
運べる電気でお楽しみ広がる！
蓄電機リペイド

【企業概要】

- 所在地 菊池郡大津町平川1500
- 業種 製造業
- 従業員数 3,300人
- 事業内容 二輪車の開発・生産
パワープロダクツの生産
- 連絡先 ☎096(293)1111
- ホームページ <https://www.honda.co.jp/>

本田技研工業株式会社 🔍検索